

北九州市立洞北中学校学校通信 学力特集号



平成30年10月22日(月)発行
校長 栗原 博 巳
北九州市若松区大字竹並3087番地1
HP: www.kita9.ed.jp/dohoku-j/

<学校教育目標>
グローバル社会の中で、自他共に認め合い、未来を逞しく生きる生徒の育成

<目指す生徒像>
☆ 国際社会の中で、将来を見据えた目標を立て、意欲的・主体的に学び合う生徒
☆ 自他の人権を尊重し、強い意思と正しい判断力・実践力のある生徒
☆ 常に心身の健康・安全に留意し、自他共に健やかな成長に努める生徒☆将来を見据え自ら学び努力する生徒

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語, 数学, 理科)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

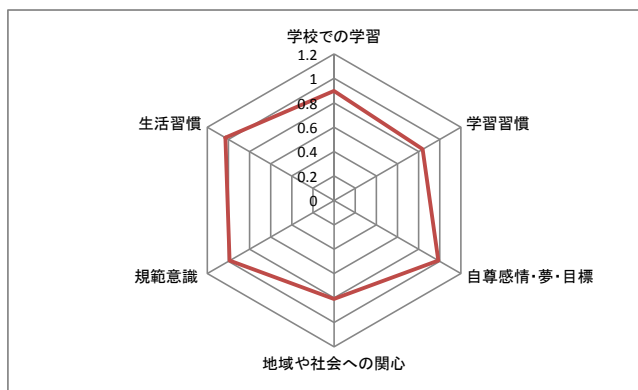
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語A	「読むこと」の平均正答率は福岡県、全国平均正答率に比べて上回っているが、「話す・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の平均正答率は全国平均正答率に比べてやや下回っている。	下回っている
国語B	全ての領域において、全国平均正答率に比べてやや下回っている。「文章の構成や展開について自分の考えをもつ」「相手に的確に伝えるように、あらすじを捉えて書く」問題の無回答率が全国より高いが、その他の問題は無回答率が全国より若干低い。	下回っている
数学A	全ての領域において、全国平均正答率に比べてやや下回っている。選択肢から選ぶ問題の無回答率は全国よりも低い傾向にあるが、その他の問題は無回答率が全国より若干高い傾向にある。	下回っている
数学B	全ての領域において、全国平均正答率に比べてやや下回っている。選択式や短答式の問題の無回答率は全国よりも低い傾向にあるが、その他の問題は無回答率が全国より若干高い傾向にある。	下回っている
理科	全体的に平均正答数の割合が県・全国に比べてやや下回っている。特に、地学的領域においての平均正答数の割合が、県・全国に比べて下回っている。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

「人の役に立つ人間になりたいですか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」「家で、学校の宿題をしていますか」という質問に対し、「そう思う」「ややそう思う」の生徒数の割合が県・全国に比べ若干上回っている。一方、「家で、学校の授業の予習・復習をしていますか」という質問に対し、「そう思う」「ややそう思う」の生徒数の割合は県・全国の割合を若干下回っている。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

「話し合う活動」を通して、本校の研究主題「主体的・対話的で深い学びを実現する授業の創造」を実現させ、伝えたい事柄を相手に分かるように表現する力、必要な情報を選択し、的確に処理する力を伸ばす。

② 家庭生活習慣等に関する取組

家で学校の授業の予習・復習をする生徒の数に課題が見られるため、自学ノートの活用を徹底する